

ネット環境等において入手できる情報をいくつかまとめてみました。

まず、最初に Coating World 誌が毎年ウェブで公開している世界の塗料業界のトップカンパニーを紹介します。昨年までは PPG(米国)が No.1 ですが 2024 年版では、Sherwin Williams が僅差でトップとなっています。日本企業では、日本ペイントホールディングスが 4 位、続いて関西ペイントが 9 位、中国塗料が 19 位、SK 化研が 21 位、日本特殊塗料が 34 位、武蔵塗料 37 位、藤倉化成 38 位、大日本塗料 49 位などの他に 4 社が入っています。大日本塗料は単体の数字が使われているようで、連結となるともう少し上位に入ると考えられます。順位の公開は 1~77 位まででした。詳しくは、以下の URL よりご確認ください。

Coating World : Top manufacturers of paints, coatings, adhesives, and sealants

⇒ <https://www.coatingsworld.com/heaps/view/13529/1/>

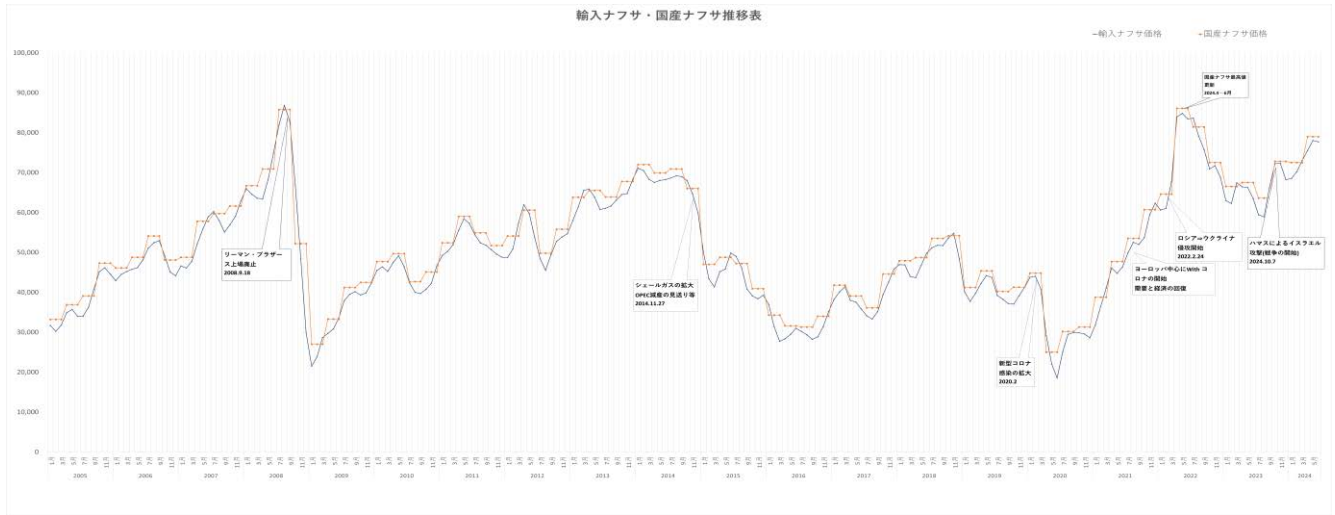
Coating World のホームページには掲載されていませんが、このうち粉体塗料を扱っていると思われる企業は、およそ半数の 35 社(各社ホームページより推定)となっています。

つぎに化学製品の価格を決めるナフサの動向を見てみましょう。グラフ 1 の様に 2005 年から現在までを見てみると 2007 年のリーマンショック、2014 年のシェールガスの拡大と OPEC の減産見送り、2020 年の新型コロナの拡大、2021 年の With コロナのスタートと 2022 年のロシアのウクライナ侵攻、2023 年イスラエルとハマスの戦争に始まる中東情勢の不安定化など上昇下降を繰り返していますが、2005 年~2024 年 6 月までの最低値 27,000 円/kL、最大値 86,000 円/kL の最低値比 318%になっています。では粉体塗料の場合どうでしょうか。国内の販売価格を経済産業省の化学工業統計で追ってみました。2005 年から 2021 年までは 700 円/kg で前後しており、2022 年頃より価格改定が進み 2024 年 6 月が最高値で 869 円/kg で 120%程度しか原料転嫁が進んでいない状況です。利用者にとっては、価格変動が少ないことは事業計画も立て易いのですが、原料費率が 60%以上であるメーカーとしては、原料高騰時に価格転嫁が難しい状況で、負担が大きくなり事業に大きな影響を与えることとなります。メーカーサイドの書きぶりになりますが、ナフサ価格に連動した、柔軟な価格の対応が今後は必要になると考えています。経済産業省も公正取引委員会・中小企業庁を中心に下請けに対する原料価格工塗時の価格に転嫁については、監視を強めており、相談窓口の強化も行っているところです。

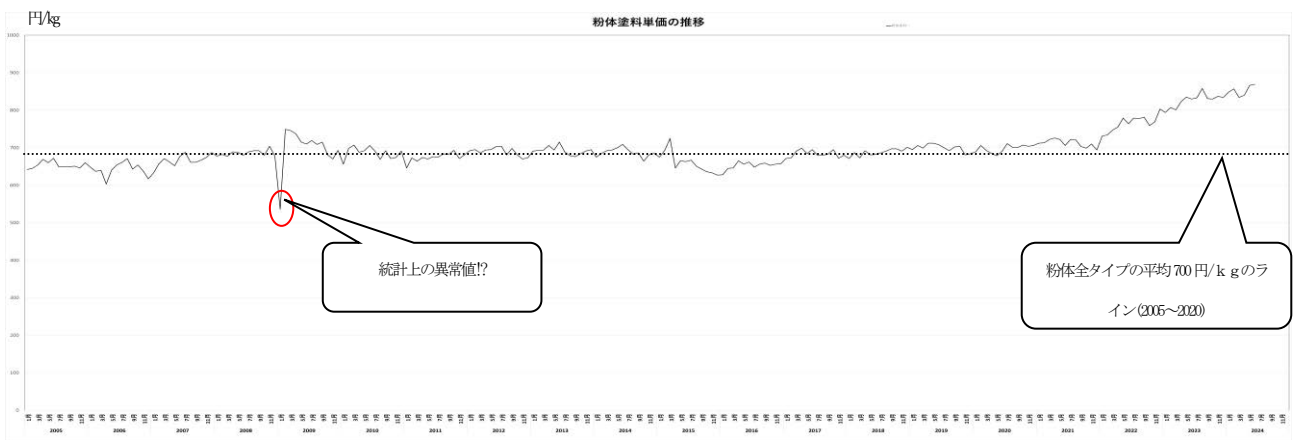
下請け取引支援サイト (経済産業省中小企業庁)

<https://tekitorisupport.go.jp/inquiry/>

グラフ1



グラフ2



経済産業省化学工業統計月報：一般社団法人日本塗料工業会集計

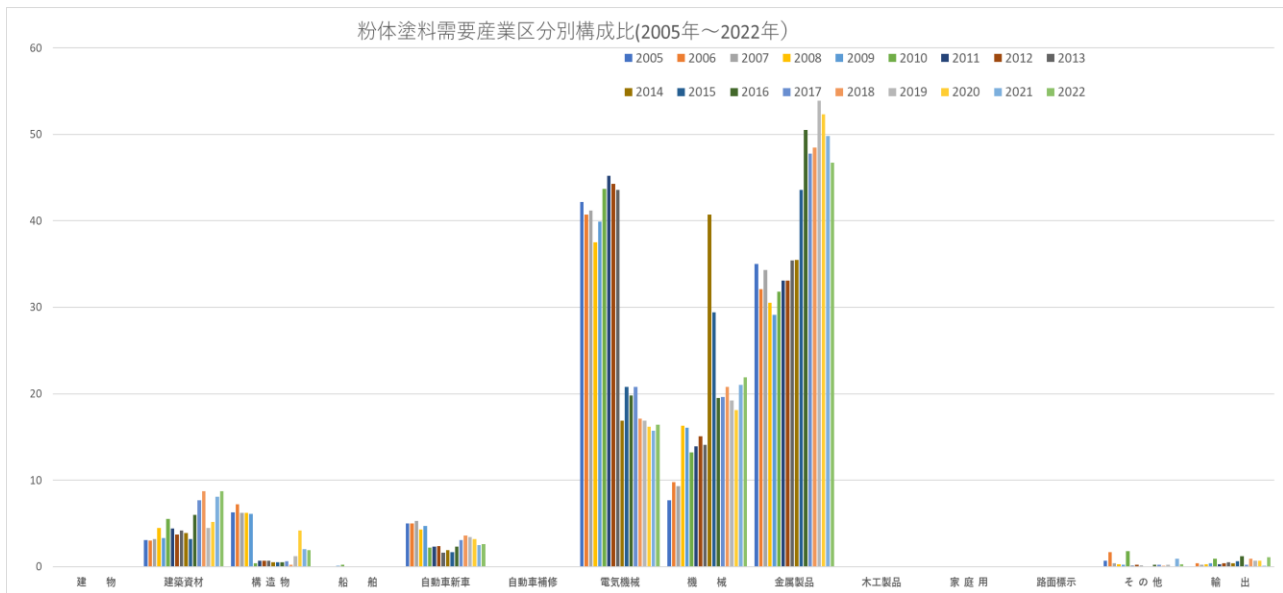
世界の粉体塗料の需要どのようになっていくのでしょうか。Orr&Boss 社の世界の塗料需要の 2023 年～2028 年予測から粉体塗料を抜き出してみました(表 1)。2024 年の世界の塗料の総需要額の予測が約 30 兆円に対し、粉体塗料は 2 兆円規模とまだまだ構成比としては低く約 7%にとどまります。2028 年の予測では世界の塗料総需要額は約 36 兆円(120%)に拡大すると予測していますが、粉体塗料は約 2.6 兆円(130%)に拡大すると予測されており、今後伸びてゆく塗料種となっています。拡大する粉体塗料ですが、その中でも国別で見ると圧倒的に中国の比率が高く 63%、日本はわずかに 3%程度にとどまっています。伸長率でみるとインドの伸びが顕著で 161%と予測されています。以前にも粉体塗装研究会で Orr&Boss 社の予測の話をさせていただきましたが、日本を含む G7 メンバー国の市場伸長率は、粉体塗料の全体の伸長率を下回っていることは特徴的です。G7 メンバー国は、早くから塗装が発達し既設ラインが多く存在することより、粉体塗装ラインへの移行は、全くの新設かスクラップ&ビルトになり投資も大きく、時間もかかることから粉体塗装への対応が遅く、需要が拡大しないものと考えます。また、粉体塗料の焼付温度が溶剤塗料に比べて高いことも投資額を押し上げ、切り替えを難しくしている要因であると思っています。

Powder Coating 世界需要見通し(地域別主要国別)

	2023		2024		2025		2026		2027		2028		2023/2028伸び率		G7 国	G20 国	G20 国で 世界 >の 国
	Volume (KT)	Value (Millions of US Dollars)	Volume (KT)	Value (Millions of US Dollars)	Volume (KT)	Value (Millions of US Dollars)	Volume (KT)	Value (Millions of US Dollars)	Volume (KT)	Value (Millions of US Dollars)	Volume (KT)	Value (Millions of US Dollars)	Volume (%)	Value (%)			
Global	4,026.12	13,444.75	4,117.67	13,786.81	4,343.35	14,613.38	4,579.07	15,443.52	4,828.26	16,374.56	5,091.94	17,365.41	126%	129%			
North America	166.22	1,699.54	167.10	1,725.38	170.47	1,777.31	173.86	1,830.45	177.30	1,903.49	180.82	1,979.43	109%	116%			
United States	155.37	1,631.46	156.15	1,655.93	159.27	1,705.61	162.45	1,756.78	165.70	1,827.05	169.02	1,900.13	109%	116%			
Canada	10.85	68.08	10.96	69.44	11.21	71.70	11.40	73.67	11.60	76.44	11.80	79.30	109%	116%			
Europe	343.30	2,226.18	352.56	2,285.10	363.44	2,400.36	372.50	2,507.02	381.31	2,615.50	390.37	2,728.94	114%	123%			
Germany	53.14	423.65	54.48	434.20	56.04	455.44	57.28	474.62	58.50	494.24	59.75	514.67	112%	121%			
France	28.60	215.65	29.33	221.13	30.19	232.07	30.92	242.30	31.66	252.99	32.43	264.15	113%	122%			
UK	21.87	144.57	22.41	148.11	23.25	156.61	23.91	164.19	24.51	171.58	25.12	179.30	115%	124%			
Spain	20.97	122.41	21.83	127.43	22.59	134.38	23.20	140.74	23.82	147.27	24.44	154.09	117%	126%			
Italy	60.91	339.12	62.28	346.75	63.93	362.87	65.21	377.39	66.19	390.60	67.18	404.27	110%	119%			
Benelux	13.56	92.34	13.94	94.90	14.36	99.66	14.72	104.15	15.08	108.63	15.46	113.71	114%	123%			
Scandinavia	13.68	93.64	14.10	96.49	14.56	101.56	14.94	106.29	15.34	111.23	15.75	116.40	115%	124%			
Poland	36.16	205.00	37.67	213.52	38.40	227.98	41.16	242.35	42.94	257.63	44.78	273.88	124%	134%			
Romania	5.04	29.40	5.28	30.79	5.54	32.96	5.79	35.10	6.05	37.38	6.32	39.80	126%	135%			
Russia	17.18	105.14	17.81	107.77	18.05	112.62	18.37	116.90	18.68	121.22	19.00	125.71	111%	120%			
Turkey	20.59	113.79	21.56	119.12	22.60	127.25	23.58	135.31	24.59	143.83	25.65	152.89	125%	134%			
Other Europe	61.59	341.48	62.10	344.89	62.88	356.97	63.41	367.67	63.95	378.70	64.49	390.07	106%	114%			
Middle East	71.41	396.77	74.79	419.58	78.34	447.91	82.06	478.16	85.95	510.46	90.03	544.95	126%	137%			
Saudi Arabia	18.51	99.22	19.25	104.18	20.02	110.43	20.82	117.06	21.65	124.08	22.52	131.52	122%	133%			
UAE	10.94	56.60	11.49	60.00	12.07	64.20	12.67	68.30	13.30	73.50	13.97	78.65	128%	139%			
Israel	10.42	53.96	10.94	57.20	11.49	61.20	12.07	65.48	12.67	70.07	13.30	74.97	128%	139%			
Egypt	1.78	23.95	1.86	25.38	1.96	27.16	2.06	29.06	2.16	31.10	2.27	33.27	128%	139%			
Other ME	29.78	163.04	31.25	172.82	32.81	184.92	34.45	197.87	36.17	211.72	37.98	226.54	128%	139%			
Africa	31.89	154.06	32.66	159.26	33.76	167.73	34.90	176.67	36.08	186.08	37.30	196.01	117%	127%			
South Africa	16.21	90.29	16.53	93.00	17.03	97.65	17.54	102.53	18.06	107.66	18.61	113.04	115%	125%			
Nigeria	7.24	26.01	7.38	26.79	7.60	28.13	7.83	29.54	8.07	31.01	8.31	32.56	115%	125%			
Morocco	3.18	16.22	3.28	16.87	3.41	17.88	3.55	18.95	3.69	20.09	3.83	21.29	120%	131%			
Algeria	1.03	5.25	1.05	5.40	1.08	5.67	1.11	5.96	1.15	6.26	1.18	6.57	115%	125%			
Kenya	1.59	7.67	1.66	8.13	1.75	8.70	1.84	9.31	1.93	9.96	2.02	10.65	128%	139%			
Tanzania	0.12	1.19	0.11	1.26	0.13	1.35	0.14	1.44	0.15	1.54	0.15	1.65	128%	139%			
Other Africa	2.53	7.44	2.63	7.81	2.76	8.35	2.90	8.94	3.04	9.57	3.19	10.23	126%	138%			
Asia	3,300.94	8,456.99	3,375.99	8,673.30	3,578.55	9,265.99	3,792.80	9,866.68	4,020.13	10,541.12	4,281.22	11,262.89	129%	133%			
Greater China	3,052.29	7,159.94	3,113.34	7,302.11	3,300.14	7,798.66	3,498.15	8,297.77	3,709.03	8,862.02	3,930.52	9,464.64	129%	132%			
Japan	59.80	394.00	61.30	405.82	62.83	420.02	64.40	434.72	66.01	449.94	67.66	465.69	113%	118%			
Korea	23.55	152.70	24.49	159.57	25.47	167.55	26.49	175.93	27.55	184.72	28.65	193.96	122%	127%			
India	59.28	235.81	64.81	259.39	69.78	285.32	75.37	313.86	81.40	345.24	87.91	379.77	148%	181%			
South Asia (ex. India)	17.71	70.44	18.59	74.31	20.27	82.48	21.48	89.08	22.88	96.65	24.36	104.87	138%	149%			
Central Asia	11.40	57.98	11.97	61.17	12.57	65.45	13.19	70.03	13.85	74.93	14.55	80.18	128%	138%			
Southeast Asia	88.10	254.91	72.52	272.75	77.96	300.03	83.81	330.03	90.10	363.04	96.85	399.34	142%	157%			
Australia & New Zealand	8.82	132.23	9.17	138.18	9.64	146.47	9.92	155.26	10.31	164.57	10.73	174.45	122%	132%			
Latin America	112.37	511.21	114.57	524.19	118.79	554.08	122.97	584.54	127.50	617.90	132.20	653.18	118%	128%			
Brazil	41.18	169.67	41.78	173.48	43.03	182.16	44.32	191.27	45.65	200.83	47.02	210.87	114%	124%			
Mexico	35.58	194.56	36.47	200.89	37.93	212.94	39.25	224.65	40.82	238.13	42.46	252.42	119%	130%			
Argentina	6.83	41.99	6.80	41.78	7.07	44.29	7.32	46.72	7.61	49.53	7.91	52.50	116%	125%			
Colombia	4.78	17.13	4.85	17.56	5.09	18.79	5.35	20.11	5.61	21.52	5.90	23.02	124%	134%			
Chile	2.39	14.19	2.42	14.48	2.52	15.35	2.62	16.27	2.73	17.24	2.83	18.28	119%	129%			
Peru	2.55	13.86	2.59	14.14	2.69	14.99	2.81	15.96	2.92	16.92	3.04	17.93	119%	129%			
Ecuador	3.61	9.25	3.70	9.53	3.84	10.10	4.02	10.75	4.18	11.40	4.34	12.08	120%	131%			
Uruguay	0.41	2.56	0.42	2.63	0.44	2.79	0.46	2.97	0.48	3.15	0.50	3.34	120%	131%			
Central America	6.55	21.50	6.72	22.14	6.99	23.47	7.27	24.88	7.56	26.37	7.86	27.96	120%	130%			
Other Latin Am	8.53	26.50	8.83	27.56	9.18	29.21	9.55	30.96	9.94	32.82	10.33	34.79	121%	131%			

次に当協同組合のホームページには、株式会社コーティングジャーナルのご協力により粉体塗料の使用分野別の構成比を掲載しておりますが、調査に協力いただけない粉体塗料メーカーがあり、全体の構成比を算出する上で影響が大きく、2014年以降の同社によるデータをご提供いただけていないのが現状です。

これに代わるものとして、一般社団法人日本塗料工業会が「塗料製造業実態調査」を会員企業等 100 数社に対し毎年実施しているもので、その統計資料の中に「塗料品種・需要産業区分別比」があり、粉体塗料全体を 100%とした需要産業区分の構成比（分類などは若干違いますが）が掲載されています。粉体の構成比のみを抜き出したものを以下に掲載致します。本統計は各塗料メーカーへのアンケートに対する回答が集計されていますので、回答社の判断により若干集計の分類が変わってくるケースがあるようです。その変化も見れるように少し長期で再集計してみました。



一般社団法人日本塗料工業会：塗料製造業実態調査より

上記グラフの区分内容及び各年構成比

産業区分		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
建 物	ビル・戸建住宅・集合住宅・工場建屋・病院・学校・ガソリンスタンド等の現場塗装(新設、補修含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建築資材	各種建築用資材の工場塗装(サッシ、建具、各種ボード無機建材含む)(PCMは除く)	3.1	3	3.2	4.5	3.3	5.5	4.4	3.7	4.2	3.9	3.2	6.0	7.7	8.7	4.5	5.2	8.1	8.70
構 造 物	橋梁・土木(コンクリート防食含む)・プラント・海洋構造物・水門・鉄塔・大型パイプ・プール等の新設、補修	6.3	7.2	6.2	6.2	6.1	0.4	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	0.6	0.2	1.2	4.2	2.0	1.90
船 船	船舶の新造、補修(積み込み用含む)(造船所の陸機部門及び製鉄所向けショップライマーを除く)	0	0	0	0	0.1	0.2	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
自動車	新車	5	5	5.3	4.3	4.7	2.2	2.3	2.4	1.6	1.9	1.7	2.3	3.1	3.6	3.4	3.2	2.5	2.60
	補修	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
電気機械	家庭電機・重電機・電子機械・事務用機械・通信機・計測器・冷凍機・照明器具・自動販売機・コンピューター関連機器等(部品含む)	42.2	40.7	41.2	37.5	39.9	43.7	45.2	44.3	43.6	16.9	20.8	19.8	20.8	17.1	16.9	16.2	15.7	16.40
機 械	産業機械・農業機械・建設機械・鉄道車両・航空機等(部品含む)	7.7	9.8	9.3	16.3	16.1	13.2	13.9	15.1	14.1	40.7	29.4	19.5	19.6	20.8	19.2	18.1	21.0	21.90
金属製品	PCM・金属家具・コンテナー・ガードレール・自転車部材・フェンス・食缶・ドラム缶・ボンベ・ガス器具石油ストーブ等	35	32.1	34.3	30.5	29.1	31.8	33.1	33.1	35.4	35.5	43.6	50.5	47.8	48.5	53.9	52.3	49.8	46.70
木工製品	合板(建築現場塗装を除く)家具・楽器等	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
家 庭 用	家庭用品質表示法に基づく表示をした塗料	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
路面標示	トラフィックペイント	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
そ の 他	塗料・紙用を含む	0.7	1.7	0.4	0.3	0.2	1.8	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0	0.9	0.30
輸 出	塗料として輸出されるもの(プラント輸出の一部として輸出されるものは除く)	0	0.4	0.2	0.3	0.4	0.9	0.3	0.4	0.5	0.4	0.6	1.2	0.2	0.9	0.7	0.7	0.1	1.10

電気機械が2014年に急激に比率を落としているのは、アンケートの回答された数字が、電気機械から機械ないし金属製品で回答されたためです。

2013年から2016年での間ですが、3つ分類の出荷量実績の合計の4年間の推移と全体の4年間の推移を比較するとほぼ近い数字にありました。

また、建築資材は絶対値としては、低位であるものの着実に構成比を上げて来ています。メーカー出荷量で、2005年の建築資材向け出荷量は801tに対し2022年は2,785tと約3.5倍の市場に拡大しています。グラフで見ると全体における構成比も右肩上がり、今後もこの市場は拡大基調にあると考えられます。

上記の構成比は、日塗工資料を基に異常値(Ex. 建築現場塗装に粉体塗料がカウントされている等)を修正しています。日本塗料工業会のお話では、建築塗装において使用される粉末状のフィラーや路面標示の粉末のトラフィックペイントが、粉体塗料としてカウントされた企業があるようです。

粉体塗装研究会でご紹介した際には、2013年～2022年まででしたが、日本塗料工業会様より過去資料をご提供いただきましたので、本誌には2005年～2022年までの推移を掲載しております。

海外の塗料メーカーにも粉体塗料の拡大を意識した動きがみられます。

以下に各社の最近の動きを記載しました。

#### アクゾノーベル

- イタリアのコモにあるアクゾノーベルの粉体塗料工場 で2024年大規模な生産能力拡張が完了。  
欧州、中東、アフリカ(EMEA) 全域の顧客への供給を確保。
- 中国でEV向け高絶縁性粉体塗料を導入。⇒バッテリー向け
- 遮熱粉体塗料を上市。近赤外線吸収率最大65%! 建材向け
- 低温硬化ポリエステル Interpon D2525 Low-Eco を上市。  
150°C×25～40分(160°C×15～30分、180°C×5～20分)焼付が可能。  
※国内メーカーも同様の商品は開発されており、粉体塗装研究会セミナーでも日本ペイント・インダストリアルコーティング様、久保孝ペイント様に商品紹介していただきました。

#### PPG

- PPG PRIMERON Optimal パウダープライマーを発表。  
重防食の世界にパウダープライマーを上市。SST10,000時間を超える(ラボデータ)という。
- 熱伝導性誘電パウダーなどIT市場をターゲットとした粉体を導入。
- 建材向けふっ素粉体塗料の投入(脱VOC, HAP, BPA, TGIC, PFOAを売りとしている)

#### Sherwin-Williams

- リサイクルプラスチックを利用した樹脂利用の粉体塗料で持続可能性をアピール。
- 高エッジカバー性と耐食性を兼ね備えたワンコートシステムの開発(特許: ダスト オン ダスト)

#### Qemtex Chemical holding

- UAEに粉体塗料新工場を開設し、最初の年間生産量は5,000トンですが、第2段階では10,000トンに増産し、生産量の少なくとも30%をUAE国内市場に割り当て、残りの70%をGCC、MENA、EU、米国市場に輸出する予定とのこと。

以上のように粉体塗料に注力する動きも活発になっています。

特に低温硬化のポリエステルは、カーボンニュートラルへの対応と相まって、今後需要が拡大するものと考えています。

低温硬化ポリエステル粉体をお持ちの各社におかれましては、市場への積極的な展開をお願いしたいと思います。同塗料の拡大がカーボンニュートラルの実現に大きく寄与し、粉体塗装市場を拡大するトリガーとなると確信しております。

## 会員企業の活動紹介

戸崎産業株式会社  
代表取締役 戸崎寿人 様

エコプロ2024の「ひょうご産業活性化センター」のブースに出展されます。  
以下はご出展の案内文と「ひょうご産業活性化センター」の出展企業の紹介を入れておきます。

お取引先様 各位殿

いつもお世話になっております。

この度、12月4日（水）～6日（金）にSDGs Week EXPO2024が東京ビックサイトにて開催されます。その中でエコプロ2024のひょうご産業活性化センターのブースにて兵庫県のSDGs認定企業13社が出展する事となり弊社も指名によりその一員として出展させて頂く事となりました。お時間が許せるようであれば是非ともご来場頂けますようお願い致します。

開催場所：東京ビックサイト 東5ホール 小間5-043

開催日時：12月4日（水）、5日（木）、6日（金） 10:00～17:00

ご来場をして頂くには事前登録が必要となりますので下記URLより登録をお願い致します。

エコプロ | 企業のSDGsの取り組みを学生や企業に直接PRできる大規模環境展示会

「環境にやさしい粉体塗装で世界を彩ります」をキャッチコピーにVOC排出ゼロ、CO2削減、回収再利用により持続可能なサーキュラエコノミー(循環型経済)に貢献し、耐久性の高い環境に優しい塗装技術をご紹介します。

兵庫県出展企業のチラシを添付しておりますのでご覧頂ければと思います。





SDGsWeek EXPO 2024  
エコプロ2024

小間番号  
東ホール  
5-043

# 兵庫県ブース出展企業

Hyogo prefecture booth

会期 2024年12月4日(水)～6日(金) 会場 東京ビッグサイト

## 株式会社ソーイング竹内

〒679-1133 兵庫県多可郡多可町中区稲屋90  
TEL:0795-32-0018 FAX:0795-32-3723



## New Nū Company

～人と想いを縫い合わせ  
新たな価値を創造する～

「ECO-FRIENDLY FACTORY」×「地域貢献」  
省エネ化・クリーンエネルギー促進・アップサイクルなど環境に配慮した取り組みを行うとともに、地域の繊維産産への貢献を目指す「ものづくり」の末端を担う縫製工場です。



## 株式会社山本電機製作所

〒653-0031 神戸市長田区西尻池町一丁目2番3号  
TEL:078-631-6000 FAX:078-631-6020



## 「未来のピース 創っています。」

センシングで次世代産業をサポート。  
脱炭素化の切り札となる水素エネルギーや月面探査を経て本格化する宇宙産業をターゲットとし、開発中の液化水素レベルセンサ、月周回有人拠点居住棟用差圧センサを展示します。



## 株式会社神防社

〒651-0079 神戸市中央区東雲通3-4-3  
TEL:078-241-3505 FAX:078-241-3506



## 被災地の経験が生んだ 災害用トイレ

災害に備えながら社会貢献もできる。災害用携帯トイレ「モラスマイ」をはじめ、人数単位で簡単に備蓄計画づくりが行える非常食セットなど、被災地「ひょうご」の経験を活かした防災備蓄品を展示します。



## 足立織物株式会社

〒679-1102 兵庫県多可郡多可町中区安楽田511  
TEL:0795-32-0437 FAX:0795-32-3550



## 備蓄用防災毛布の再資源化 REPLACE&RECYCLE

保管期限切れや使用済み毛布の備蓄用防災毛布の再資源化を提案いたします。  
廃棄せずに糸やフェルト素材に再生し、クッション材や織生地等にアップサイクルしました。ぜひブースにて実物をご覧ください。



## 浜田化学株式会社

〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町1-4  
TEL:06-6411-3457



## 廃油リサイクルで SDGsを達成

浜田化学は、新しい持続可能社会の創造やライフスタイルの革新を目指し、日本全国を網羅する回収ネットワークのもと、廃食油や食品残渣のリサイクルを行っています。  
回収した廃食油は、バイオ燃料や飼料用添加油脂などの再生資源にリサイクルし、循環型社会の実現に貢献いたします。



## 平田運輸株式会社

〒675-2103 兵庫県加西市鶴野町83番地の98  
TEL:0790-49-0111 FAX:0790-49-2951



## 「物流を通じて “心ある未来を創る”」

物流を通じて“心ある未来を創る”  
平田運輸株式会社は物流とサステナビリティを兼ね備えた拠点“Kasai Sustainable Base”の竣工を予定しています。  
(2025年11月完成予定)  
“心ある未来”を創る為に私たちは走り続けます。



## 柏原加工紙株式会社

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原1561  
TEL:0795-72-1137 FAX:0795-72-2726



## 緩衝性能を高めた 100%再利用できる紙!!

緩衝性能を高めた新製品「エアリングペーパー」は、滑りにくく、しなやかで扱いやすいリング形状の紙製緩衝材です。  
100%再利用できるため、石油化学系包装資材から代替を検討する企業様におすすめです。



## 旭光電機株式会社

〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町1丁目2番地4号  
TEL:078-515-8601 FAX:078-515-8602



## 「現場を未来へ、後付けDX」

当社は環境・新幹線通道の自動ドアセンサ/コントローラや、鉄道ブレーキ・船舶の制御機器を開発～生産まで行っています。  
これらで培った技術・生産・品質力を核として、独自のなGX/DX/AI製品にも挑戦しています。



## 戸崎産業株式会社

〒676-0074 兵庫県高砂市楠井5丁目2番3号  
TEL:079-447-1756 FAX:079-447-2612



## 「環境にやさしい粉体塗装で 世界を彩ります」

弊社の粉体塗装は、VOC排出ゼロ、CO2削減、回収再利用により持続可能なサーキュラエコノミー(循環型経済)に貢献し、耐久性の高い環境に優しい塗装技術を提供します。



## 株式会社アマシ

〒664-0001 兵庫県伊丹市荒放4丁目6-21  
TEL:072-771-7330 FAX:072-771-7331



## 「人と地球にやさしい モノづくりを目指して」

【兵庫県産ひのきを使用】森の循環と地元の林業に貢献するSDGs取組商品です。  
【竹と天然獣毛ヘアブラシ】脱プラ取組商品です。  
【竹とバイオマスナイロンのエコ歯ブラシ】尼崎信用金庫 あましんグリーンプレミアム第12回選考委員会特別賞受賞製品。



## 株式会社インプルーヴ

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4  
デザインクリエイティブセンター神戸420号室  
TEL:078-321-6808 FAX:078-321-6807



## 「ニットの編地作り～ 製品化までプロデュース」

2000年神戸で創業。アパレルニット商品の企画・監修業で培ったノウハウを活かし、ペットのオーダー雑貨ブランド「and.eアンデ」や、ニット業界に不可欠なリング縫製の技術者育成に取り組んでいます。就労継続支援事業所等との継続取引を実現するため、「選割り=OSOWARI」の仕組みを考案しました。



## a asia

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1-260-15  
SAビル2階  
TEL:079-424-9700



## 「日本初」100%オーガニック 化粧品 温泉源泉×国産ハーブ

「アンドハリマジャパン」は2022年に誕生した、日本初の100%天然原料の化粧品ブランドです。無農薬植物と温泉水を使い、防腐剤無添加で年齢や肌質を問わずお使いいただけます。環境にも配慮され、エステや宿泊施設でも採用されています。



## 淡路瓦工業組合

〒656-0332 兵庫県南あわじ市湊134  
TEL:0799-38-0570 FAX:0799-37-2030



## 「未来につなげる 淡路瓦のモノづくり」

400年以上の伝統を誇る淡路瓦は、兵庫県を代表する地場産業です。これまで受け継がれてきた淡路瓦の歴史を含む「淡路瓦ストーリー」とともに、住宅の長寿命化と高温多湿の過酷な日本の住環境の向上に資する、屋根材や景観材(壁材・床材)としての魅力をご紹介します。



## お問い合わせ

(公財)ひょうご産業活性化センター経営推進部成長支援課  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-4  
神戸市産業振興センター2階

TEL:078-977-9117  
E-mail: sdgs@staff.hyogo-iic.ne.jp

「兵庫県は中小企業のSDGsの取り組みを支援しています」



中小企業のための  
ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業



## 表紙解説

表紙絵画：小島輝夫

表紙写真

「落ち葉の御苑」

秋の下旬、新宿御苑にカメラクラブのメンバー達と撮影に行った。紅葉も終わり裸木も目立つ、園内は閑散としていた。千駄ヶ谷門の近くまで来ると、桜並木の道は見事に落ち葉で覆い隠されて、秋の終わりを感じた。

パウダーコーティング

ISSN 1346-6739

2024年11月29日 Vol.24 No.4

発行所：日本パウダーコーティング協同組合(JAPCA)

東京都港区芝5-31-16 YCCビル9F

TEL: 03-3451-8555 FAX: 03-3451-9155

URL: <http://www.powder-coating.or.jp>

制作：パウダーコーティング誌制作部

©2024 日本パウダーコーティング協同組合

本誌に記載されたすべての記事内容について、日本パウダーコーティング協同組合の許可なく転載・複写することを禁じる。



パウダーコーティング ISSN 1346-6739  
二〇二四年十一月二十九日 Vol.24 No.4  
定価 二〇〇〇円

発行：日本パウダーコーティング協同組合 (JAPCA)  
東京都港区芝五・三二・一六 YCCビル  
制作：パウダーコーティング誌制作部